

仕事を離れて見る景色

K.H

長年の仕事や通勤から解放されると近くの遊歩道を散策する時間が増えてきます。これまであまり関心がなかった野鳥もよく目に飛び込んでくるようになりました。野鳥を見つけながら歩くと距離も伸びます。楽しみも増えます。そこで、自然の中でたくましく生きる野鳥の暮らしぶりを少し覗いてみることにしました。

まずはアオサギとシラサギです。川辺を歩いていると狩りをしている様子をよく見かけます。世間を騒がしている“サギ”と呼び方が重なるのは残念ですが美しい鳥です。



アオサギ



シラサギ

運がいいと川辺でキジ(雉)やカワセミに遭遇することもあります。カワセミがよく出没する池の周りには大型の望遠付きカメラで一日中シャッターチャンスを狙っている人たちを見かけます。さながらアイドル撮影会のようです。



キジ(オス)



カワセミ

山や川に行かなくても野鳥を見ることができます。実りの秋になると人家の周りには野鳥が集まってきます。熟した柿を食べに来るのはヒヨドリやメジロです。甘いものや赤いものには目がないようです。南天の実を残らず食べてしまうのはヒヨドリです。首を絞められたような鳴き声と車の上に落としていく糞が気になります。メジロは庭木によく巣をつくります。山吹の茂みでは見かけたことがない巣を見つけました。調べたところウグイスの巣のようです。いずれも目線に近い高さに巣を作るのですが葉が茂るとまったく気が付きません。見つけるのは巣立ったあとです。



メジロの巣



ウグイスの巣

野鳥の中でも非常に人懐っこい野鳥がいます。ヤマガラ（山雀）です。ヤマガラはエゴの実が好物のようで実がなるころによく見かけます。あるときピーナッツを手にのせて近づいたところ興味津々の様子で眺めていました。そこで家の窓から顔を隠してピーナッツをやってみたところ、何回かチャレンジを繰り返したあと手から取っていけるようになりました。しかし慣れてきたとはいえ野鳥です。むやみに餌をやるのではなく一日数回ガラス窓をノックしてきた時だけピーナッツを4分割したものを手からあげることにしています。



手につかまるヤマガラ



ピーナッツ1/4個

冬の間ヤマガラがよく来るようになったので窓のすぐ上に巣箱を取り付けてみました。すると気に入ってくれたようでヤマガラの巣作りと子育てがはじまりました。ところが次の年はなぜかヤマガラではなくシジュウカラが巣作りをしました。



顔を出すヤマガラ



シジュウカラのヒナ



巣立ちしたシジュウカラ

野鳥の中でスズメ(雀)の姿を見かけなくなってきました。以前、ある国ではスズメを害鳥として根絶やしにしたため害虫が大量発生して大飢饉に見舞われる事態になりました。日本でも昔から身近にいるスズメですが巣作りの場所が困難になり数を減らしています。ヤマガラやシジュウカラにとっても巣作りに適した木の穴を探すのは容易ではないように思います。巣箱はそうした鳥たちの「お宿」です。今年も掃除を終えた「お宿」で子育てが始まるのを楽しみにしています。



スズメの沐浴



エゴの実を食べに来たヤマガラ

在来の野鳥とは別に渡り鳥のジョウビタキを庭で見つけました。乱獲されてきたツグミも草地で見かけます。他にも家の周りで朝早くから美しい(騒々しい)さえずりをしている鳥がいるので調べてみました。なんと特定外来生物に指定されているガビチョウ(画眉鳥)です。鳥に罪はありませんが在来種に影響を及ぼしているそうです。



ジョウビタキ



ツグミ



ガビチョウ

見つけたい野鳥を野外で見つけるのは簡単ではありません。ウグイスの鳴き声にしてもその姿をとらえることは容易ではありません。バードウォッチングが目的ではありませんが散歩する際はデジカメをポケットに入れて歩きます。「今日はどんな野鳥に会えるかな」、「種類は何かな」と思いながら散歩するのも定年後の楽しみの一つです。

(写真はすべて著者による撮影です)